

農林水産大臣賞

ゆのき
柚木マスミ（福岡県糸島市）

代表作品「糸島旬の弁当」

柚木氏は、水稻および野菜の農家であるが、平成7年から饅頭をはじめとする加工品や弁当を朝市や農産物直売所に出荷している。

平成15年に、消費者に旬の野菜を食べてもらおうと旧前原市内にある農業公園「ファームパーク伊都国」内の農産物直売所の出荷者組織「伊都国即売会」の会員に呼びかけ、伊都国即売会「旬の会」を10名で立ち上げた。現在、柚木氏は「旬の会」の会員として、ファームパーク伊都国での「旬菜簡単クッキング」試食会や交流バイキングの実施など、消費者との交流に力を注いでいる。

また、「50歳になったら店を持ちたい」という夢をかなえるため、各種の起業講座を受講しながら、中小企業診断士等のアドバイスも積極的にうけて起業プランを練り上げた。そして、平成17年度には福岡県農村女性チャレンジ支援事業を活用して自宅納屋の改造を行い、平成18年5月、惣菜の量り売りの店「惣菜畑 がんこ」をオープンした。屋号は「ホクホクしてとても美味しい」かぼちゃの名前「がんこかぼちゃ」より名付けた。

平成19年4月、糸島市内に開設されたJA糸島のファーマーズマーケット「伊都菜彩」に会員として弁当や饅頭、餅を出荷し、売上が飛躍的に伸びた。

現在、弁当・饅頭・餅などを農産物直売所で販売、自宅敷地内店舗での惣菜の量り売りをするほか、九州大学伊都キャンパスで糸島産農産物を多く使った「糸島旬の弁当」を週5日販売するなど、工夫を凝らした活動を展開している。



交流バイキング



「糸島旬の弁当」